

津久戸小・江戸川小統合等検討協議会だより



平成 23 年 1 月 20 日（木）に江戸川小学校において『第 6 回津久戸小学校・江戸川小学校統合等検討協議会』が開催されました。〔出席委員：12 名／欠席委員：1 名、傍聴者：23 名〕

協議会では、（1）現状の共通認識及び課題・解決策（案）等の検討について（2）次回以降の日程、議題及び委員以外の方の出席について、協議が行われました。

協議の内容等については、下記のとおりです。

◆◇現状の共通認識及び課題・解決策（案）等の検討について◇◆

■いままでの議論から、下記のとおり、現状の共通認識が図られました。

- ① 江戸川小において、児童数のさらなる減少が懸念される。
- ② 本協議会が長期化するほど、江戸川小の児童数が減少するリスクが高まる。
- ③ （近年の両校の通学区域内の）未就学児数の増大、35 人学級の導入。

早期に統合の必要性の有無について、合意形成を図ることが必要。

■共通認識をもとに、統合した場合と統合しなかった場合の課題等について協議が行われました。

今後のスケジュールについて

- ・これ以上の入学者減少を避けるためには、6 月に実施する 24 年度入学者向けの学校説明会までに、何らかの方向性を示す必要がある。
 - ・方向性を出す前に、両校 P T A の意見をまとめる必要がある。そのうえで、協議会での合意や教育委員会での手続きなどを考慮すると、年度末の P T A 総会等に諮る必要がある。
- 以上から、2～3 月の協議会を目標として、方向性を固めることになりました。

協議内容について

- ◆ 「項目別課題等想定シート」により、統合する・しない、どちらの結論になったとしても、多くの課題（江戸川小の児童数減少、校舎の老朽化、狭い校地での仮校舎期間のプレハブ校舎や新校舎が過密になることへの懸念等）があることが、協議会委員の間で認識されました。
- ◆ そのうえで、教育委員会事務局次長より「教育委員会も、何も決まっていない不安定な状況を長期化させることは江戸川小の児童数減少に影響を与えるため、できるだけ早期に結論を出したほうが良いと考えている。また、クラス替えのできる学校規模を確保するという考え方は変わらないが、直近の通学区域内の未就学児数の増加や 35 人学級導入による影響等を総合的に勘案すると、当面の間は統合を見送るほうが良いのではないかと考えている。ただし見送るにしても様々な課題への対応策についての検討が必要である。」という趣旨の発言もありました。
- ◆ 統合を見送る場合には、今後、統合の必要性が再び生じないように、中長期的及び短期的に江戸川小の児童数を増やすための対策についても話し合うべきであり、また、どちらの結論にするとしても、将来に向け責任ある判断をするためには、もう少し議論を深める必要があるという意見もありました。一方で、早期に結論を出す必要もあることから、次回協議会までの間に協議会委員の意見交換の場を別途設ける必要性なども話し合われました。
- ◆ そこで、次回協議を進めるにあたり、たたき台として「統合しない場合」の合意文書（案）を事務局が作成し、統合の必要性の有無について、さらに議論を深めていくことになりました。

◆◇次回以降の日程、議題及び委員以外の方の出席について◇◆

■次回は、協議会の合意文書（案）について協議をします。

■下記のとおり、第10回までの日程が決まりました。

- ⊗ 第7回 …平成23年2月17日（木） 午後6時30分～8時30分
- ⊗ 第8回 …平成23年3月17日（木） 午後6時30分～8時30分
- ⊗ 第9回 …平成23年4月21日（木） 午後6時30分～8時30分
- ⊗ 第10回 …平成23年5月19日（木） 午後6時30分～8時30分

※会場はいずれも、江戸川小学校 3階 ランチルーム です。

※変更することもあります。下記のホームページもご確認ください。

【事務局】

新宿区教育委員会事務局 教育施設課 学校適正配置担当

〒164-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 TEL:03-5273-3107 FAX:03-5273-3510

【ホームページ】

http://www.city.shinjuku.lg.jp/kodomo/index04_0406_03u.html

★牛込地区学校適正配置に関するお知らせ等を掲載しています★